

Merry Christmas & A Happy New Year !!



和鉄の道 Iron Road 瀬戸内海 来島海峡の日の出 世界初の三連吊橋 来島海峡大橋 (全長 4105m)



「集い」 河島英吾 作

“Yes, I can”の言葉に背をおされつつ歳を重ねています。
本年もよろしくお願いします。

「変」
時代が大きく「変わる」
何かおかしい「変」なことが多すぎる
自らが「変わる」「変える」



「時流に乗っていた」のが本当は「乗せられていた」 そんなことが 自分の身近で次々おこる。
「ふと 気が付くと 時流は はるか かなた」 歳なのかなあ・・・と
でも ぶれない基本は「共に生きる」 この言葉がこれほど身近に強く思う時はなし。
「明日ではなく、今を」 はよく言われる言葉。でも その「今」が「変」。もう 人に頼ってでは乗せられる。
「ぶれることのない目線」が問われる時代である。
「強欲 精一杯の自分」の目線から「共に生きる」の目線へ 変われるだろうか ??? 「変わらねば……」
そんな気持ちを少しでも発したい。
河島英吾の「そんな 時代遅れの 男になりたい」の言葉が耳に響いている

今 病気に 介護に 生活に がんばっている仲間がいる
遠く 見守るしか すべを持たないのがはがゆい。
ただただ 回復と笑顔を祈るのみ。でも ひとりではない いつも一緒に仲間がいる

2009.1.1.1 神戸にて Mutsu Nakanishi

北東北の縄文遺跡群が世界遺産の国内暫定リストに登録された。その中心は「ストーン サークル」や縄文の渦巻き紋様に代表さ日本人の心のルーツを映すと言われる縄文の「環」。森が広がる見晴らしの良い丘に「広場を真ん中に輪になって集落を作り、祖先と一緒に住み、戦をしなかった縄文」。日本人の心のルーツ「環」は「和」「和をもって貴し」。縄文が教科書からはずされ、日本人の心からはずされようとしている昨今、今一度「縄文」の文化に眼をむけてみては……と思っています。



日本人の心を映す縄文のストーンサークル

「Challenge !!」

眼一杯の効率主義を捨て ゆとりある「質」へ

キーワードは「環境・エコ」「共生・融和」の追求だと聞く

サブプライムローンに始まり、世界全体が大不況。混乱の時代に。

「日本は経験済みだから大丈夫」の楽観主義に「それは うそやろ・・・」と思いつつも流れに任せるままに 自動車・エレクトロニクスに始まる未曾有のリストラ。本当に厳しい時代。

金融機関からは無節操な「今がチャンス 投資を」と 著しく目減りした「投資運用成績」が何のコメントもなしに「あなたの自己責任」を突きつける。自己責任の名で すでに 株・投資信託・預貯金の膨大なつけをすでに支払われている。

その額の大きさを知らぬままに過ごしている人がどれほど多いことか・・・

この流れの中で 世の中は 医療・食品偽装に始まって、リストラへ 日本国中 直接・間接 総不安の流れの真っ只中にいる。重厚長大企業の大リストラ時代につづく、先端産業の大リストラ。

日本全体の製造業が自動車・エレクトロニクスにこんなにも飲み込まれていたのか・・・と内心ビクビクしている。

昔から、外需・輸出に頼る製造業経営の危うさが 指摘されながらも、それに支えられた海外展開型拡大路線の破綻である。

でも、ちょっとおかしい。 もともとサブプライムローンは金融の破綻。そして 不景気の発端はアメリカ消費の大減少。

要は サブプライムの虚業に踊らされた金融とアメリカ消費に肩入れしすぎたグローバル戦略の破綻だろう。

なのに「アメリカに端を発した100年に一度の大恐慌アメリカにがんばってもらわないと・・・。」との姿勢。

裏には「我々には どうしようもなかった災難」との認識がちらちら。

「違うだろう」 金融投資・海外展開型拡大路線の破綻。

この時代に生きる誰もが そのつけを負わねばならぬとしても 金融投資業・海外展開型拡大路線企業の責任は問われず、働く者の しかもブルーカラーの弱者ばかりが、責任の先頭に立たされるのには 本当にわびしく、憤りを感じる。

この道がどこまで続くのだろうか・・・

この状態を改善すれば、「企業は海外へ逃げる」という。低賃金を求めた海外展開に立つ拡大路線が破綻したのが、今回ではないか・・・「海外に逃げないようにした」結果がこの大不況ではないか・・・。

逃げるものは逃がしたら ええや ないか? と思うのはおかしい議論か???

国内保護主義に立ち帰れという気はないが、企業理念の見直し・転換が今 本当に必要と考えるのは 素人の僻みか・・・

日本を代表する経営者・金融を引っ張るアナリストそして政治家の空虚な言葉の数々。

一番 感性がにぶって 裸の王様 の姿がちらちら

アメリカに眼をむけると 最後まで 自動車産業・金融業に公的資金の投入に反対し、冷徹に自国の進む道を突き進む。

すごい社会で 住みたくは無いが、筋が通っている。

また、オバマ新大統領は それを基軸に「チャレンジ」を合言葉に国民一致の新路線を突き進む。

ヨーロッパも同じく、新しい路線を模索している。

日本だけが、未だに 希望的に アメリカの景気回復を願いながらのあくなき金融投資救済・海外展開型拡大路線を継続する。

何か おかしい。 もう 言葉の遊びで模様眺め路線はなし。 自国のアイデンティティが強く求められる時代。

国際協力も国際貢献もそれなしでは 何もできない時代である。

ある仲間が言うには

「昨年9月に彼は 金融商品 みな 処理せえ・・・というてたなあ。

彼は 何をみていたのかなあ・・・

」と。

まさに 混乱の時代の中で 「Challenge !!」

キーワードは「環境・エコ」「共生・融和」の追求だと聞く。

眼一杯の効率主義を捨て ゆとりある「質」へ

「 変えられないものを受け入れる 心の静けさ

変えられるものを変える 勇気と

その両者をみわける 英知を 」

2009. 1. 23. 神戸で

Mutsu Nakanishi



パンジーの花言葉は

つつましい幸せ 思慮深い・

心の平和・誠実な愛・信頼・忠実

日本人の心ノルーツ「縄文」連鎖的にいろいろ

アカデミー賞受賞映画「おくりびと」と直木賞受賞天童荒太「悼む人」ほか

グローバル化に翻弄される時代 昨日の価値が今日は一変する。

何を頼りにすれば良いのか・・・迷い続ける今。

日本人が忘れてきたものは何か？ それを問い直すことが、ブームたでという。

本年 新聞や TV など見聞きした気になった言葉

■その１ 「文芸春秋」に時代を読む

長いこと「文芸春秋」など 手に取ったことなかったのですが、久しぶりに読みました。

- ・ 経済団体の Top で 常々他の財界人とはちょっと違った立場を表明している鉄鋼のトップの対話
- ・ 過度なグローバル化を推進した自動車の破局の実態と現実
- ・ かつて 内閣側から改革路線を推進し、今その失敗を表明した学者某氏の記事

など正確なタイトルではありませんが、そんな記事と一緒に掲載されているとの新聞広告欄で見えました。

このへんてこな時代に、軽薄短小 IT 型企業の持つグローバル強欲資本主義的思考方を批判し、重厚長大型企業の持つ「ものづくり」の考え方への共感に惹かれることなど色々書いてきましたので、自分の考え方と世の中の差を図るにはよい教科書と。

まあ 自分とあまり遠くない論があること 体制派の中にも行き過ぎに目を向ける人たちがいることにちよっぴり安心。

激動の中では「何を軟弱な・・・」と切り捨てられてしまうことが、今 時代を変えようとしていると感じています。

みなさんには どう 今の時代を感じておられるでしょうか・・・

■その２ アカデミー賞受賞映画「おくりびと」と直木賞受賞天童荒太「悼む人」

また 同じ目線で 今の時代を見直す映画と小説が話題をさらっている。

「東北 鶴岡・酒田 日本の原風景がきれいに描かれている」と聞いて以前に観た映画「おくりびと」

アカデミー賞を受賞して、映画のタブーのテーマ「死と向き合うこと」と取り組み

「忘れていた日本人の心のふるさとを描いた」とか

「亡くなった人と一緒になった空間を美しく描いている」などと 賛辞が送られている。

暗い映画はいやだなあ・・・と思いながら、足を運んだのですが、そんなところ微塵もなく、東北の自然の風景の中で歌舞伎のしぐさでもみているような美しさが描かれ、逝った人との対面がこんなに美しかったのかと・・・

もうひとつ

同じく直木賞受賞作「悼む人」を書いた天童荒太氏のインタビューが先日夜 NHK で放送されていて、

逝った人と空間をひとつにするには

「『そのひとが 誰を愛し、誰に愛されたか そして 誰かに感謝されているか?』 それを知ることだ。」と。

■その３. 天声人語より われら 同窓会世代

嵐山光三郎さんの短編集「同窓会奇談」のあとがきにある。

「人々が同窓会へ出かけて、交錯した時間の糸をたぐり寄せ合うのは、昔の自分に会おうという無為の作業である。」

▼同窓、同郷というだけで打ち解ける。共通の時代や景色の中に「昔の自分」をしばし重ねられるからであろう。

育ててくれた土のおい確かめ、まっさらの希望を懐かしむ。

財界でも大小の成功者を「土の絆」を結びつけることがある。

▼キャンノンの工場建設をめぐる脱税事件で捕まった会社社長・・・・・・・・

・・・・省略・・・・

(次頁へ)

▼財界総理が「長年の友人だったが弁護する気もない」とした容疑者は、ゆりかごの足元でうごめいた黒い影であろう。
実像がかすんだにせよ、ゆがんだにせよ、「レンズの曇り」は世界ブランドらしくない。
故郷、旧友。優しきものとの交わりは、心地よいゆえに、難しい。

朝日新聞「天声人語」より 抜書き

この天声人語の記事を読んで

常々違和感を持っていた財界総理の「長年の友人だったが弁護する気もない」との発言が強く耳に残っていた。
「解」はないのだろうけど、浪花節といわれようと わたしにとっては「これはないなあ・・・」と。
日本人なら 誰しもある同じ心情を天声人語がとりあげてくれた。
人それぞれでしょうが、同窓会世代には人生が見えてくる。
さあ どうでしょうか

時代が殺伐としている中で、価値観が大きく変動している。
マスコミの「みんなが……」の根拠のない偽装やそれがローカル 村社会といわれても目もくれず、
それが 日本人の心情ではないか、
4000 年を越える日本人の知恵「自分なりに」では……
これぞ「縄文」の底に流れる心
殺伐とした時代に「縄文がえり」がブームになるかも 知れません。

2009.2.27. by Mutsu Nakanishi

今シーズンもラグビーの試合に胸をときめかしました。

最近 コマーシャリズムが浸透して、スポーツ観戦にも感激性が薄れましたが、ラグビーはさにあらず。

ボールに集中する決定的瞬間が写真に取れぬかとせっせと通いました。タックルの一瞬。競り合いの一瞬。そして、ぜひとも トライの瞬間をと思うのですが、動きのある一瞬はデジカメではなかなか・・・

いつもは、横から流れを見るのですが、ゴールに向かって走ってくるのを縦から観るのもすごい迫力。また、今年は終了数十秒前 奇跡のドロップゴールによる1点差の劇的な逆転劇を観れました。今年はダメでしたが、来シーズン また、チャレンジです。



神戸 御崎球場【ホームズ スタジアム】トップリーグ スティーラーズ/三洋戦 12.21.



トップリーグ スティーラーズ/三洋戦 12.21.



大阪・花園ラグビー場 日本選手権 サントリー/クボタ戦 2009.2.7.



大阪・花園ラグビー場 マイクロソフト杯 サントリー/東芝戦 2009.2.1.



大阪・花園ラグビー場 日本選手権 スティーラーズ/NEC 戦 2009.2.7.



大阪・花園ラグビー場 日本選手権 サントリー/フボタ戦 2009.2.7.

【From Kobe 4月】

先月に続いて 変わり行く 故郷「尼崎」のこと

先月 「尼ロック」を紹介しましたが、地元の仲間ばかりでなく 多くの方から 色々メールをいただいたり、昔の話をきかせていただいたりで、ついぞ忘れていたことなど昔の記憶をよみがえらせることが出来ました。ありがとうございました。

その一部をお話するのも含め、今月も続けて わたしの故郷「尼崎」です。

- 阪神電車 なんば線開通と甲子園リニューアル
- かつての鉄の街・尼崎の象徴「尼崎の三本煙突」探していた写真 を送ってもらいました
- 宮本輝 流転の海 第五部「花の回廊」におさないころの「尼崎」が描かれていました

1. 阪神電車 なんば線開通と甲子園リニューアル

3月20日 阪神電車 なんば線が開通して、神戸三宮-大阪なんば-奈良が直通でつながりました。

大阪梅田へ向かう本線から尼崎で分岐して西九条までの西大阪線をさらに東へ延伸して近鉄難波駅へ相互乗り入れ。

神戸三宮発奈良行の直通運転が始まった。

すぐ「なんば」につながると言われつつけて 何年になるか……。もう あきらめ気味だったのですが……

これも USJ・ユニバーサル ジャパンと甲子園球場の集客力のなせる業か……

その西宮甲子園球場もリニューアル 3月21日から 選抜高校野球が始まりました。

球場が大きすぎて 夜間照明が届きにく、照明塔がニューと延びていた足が観客席にあって、観にくかったのですが、今回 内野席を覆う大銀傘と共に まっすぐに改造。でも 甲子園のやわらかいカクテル光線はそのままに……。

阪神電車なんば線の開通は庶民の町「尼」がますます変わってゆく象徴かもしれません。

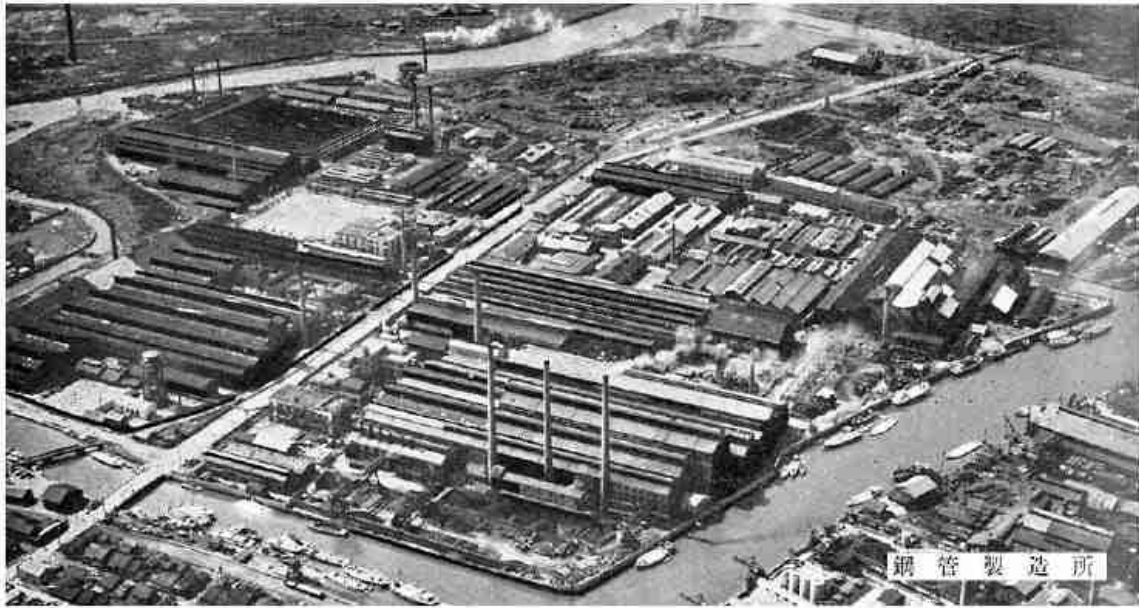


うれしくて、阪神難波線開通前に発売された三宮—奈良間の1日フリーキップ[開通記念お試しフリーチケット]が2万枚発売された翌日 三宮へ買いに行ったのですが、「そんなもん すぐに売り切れ。2時間で全数なくなりました」と。

みんな 待ち望んでいました。

便利になって 町がきれいになっても 庶民的な尼崎のよさがなくならないように……と願っています。

2. かつての鉄の街・尼崎の象徴「尼崎の三本煙突」 探していた写真 を送ってもらいました



「鉄の街」尼崎昔 (1) 昭和32年当時の 住友金属钢管製造所の三本煙突

住友金属工業六十年小史 (昭和32年5月20日発行)
左下から右上へ南北に阪神尼崎駅から東海岸町・尼崎港への五合橋 道の左側東向島東之町 右側 東向島西之町
左下が築地の街で運河に架かる五合橋 (築地橋) 钢管製造所の工場街を抜け右上が可動橋の東高洲橋
左上端の川が東瀬運河 「J」字に下から右への運河が庄下川 (旧左門蔵川)

先日 仲間から「三本煙突」の写真と共に「煙突はなくなっているが、工場はすこぶる元気」とのメールを貰いました。

ちょっとあきらめ気味でしたが、尼崎「三本煙突」の写真が見られました。

かつて、阪神尼崎駅周辺から 南を望むとおおきな三本の煙突がそびえ立ち、すぐ横の五合線を南の工場街へ向かう人と自転車の群は幼き頃の記憶にある鉄の街・尼崎の象徴。現在は阪神電車が高架になり、南が遠望できるのですが、煙突が消え、なんと間の抜けた姿に……。

もう 記憶が定かではありませんが、三本煙突の1本が折れ、それからまもなく すべて解体された。

仕事で通っていた頃にはあまりに身近で気にもなりませんでしたが、尼崎を離れ、阪神電車に乗ると知らず知らずこの「三本煙突」を探していました。

うれしい限り。私の写真ファイルにしっかり 納めました。

多くの人々がD51の躍動感にひかれますが、堂々と立ち、白煙をもくもくとあげる煙突の姿も格別。元気がもらえました。

阪神間では 神戸三宮から阪神高速道路に乗り、東へ向かうと 高速道路の真正面に1本の赤白縞模様の大きな煙突が白煙をあげる場所があったのですが、この景色もなくなりました。時代の進歩とはいえ、さびしい限りです。

下記は 鉄の街 尼崎 工場街今昔の写真です。



1964年 関西電力 第一・第二発電所



「鉄の街」尼崎 昔 (2) 関電の3つの発電所など 尼崎港周辺工場街 東本町周辺

東本町 関西電力 尼崎第一・第二発電所 1964年

インターネット検索より



公園都市「鉄の街」尼崎の今 青空とハイテク化された鉄の街 シンボルは尼ロック 2009.3月

【参考】 和鉄の道 陽だまりハイク 工都 尼崎 を支える「尼崎港閘門 (尼ロック)」Walk

<http://buffalonas.com/mutsu/www/2009htm/iron5/0903amrk00.htm>

3. 宮本輝 流転の海 第五部 「花の回廊」に

幼い頃の「尼崎」が描かれていました 「牛マメ」って 知っていますか……

戦後の尼崎の庶民を描いたものという「カモカのおっちゃん」田辺聖子のエッセイ集が有名なのですが、戦後まもない頃の尼崎の庶民の生活 それも難波のことが 宮本輝流著「転の海 第五部 花の回廊」に描かれていると教えてもらった。

阪神尼崎駅の北約 100m の所を東西に阪神国道・国道 2 号線が通っていて、この尼崎駅から西側の 阪神国道より北側一帯を「難波」という。私の故郷です。

図書館で借りた宮本輝 流転の海 第五部「花の回廊」。

「好物のマメギモがでてくるよ。 あのマメギモが……」と一部から順番に読んできた家内がいう。

「本当か……」と第 5 部「花の回廊」にとびついで拾い読みしてびっくり。

小説の主人公の小学生の子供が その頃国道 2 号線を走っていた国道電車東難波電停前 蘭月ビルの安アパートの一家に預けられ、難波小学校に通いつつ、その頃の小学生を通して庶民の生活がリアルに描かれている。

蘭月ビルは電停前にあった映画館香月ビル 難波小学校は母校である。

描かれる戦後間もない庶民の窮乏生活 私自身が体験したそのものではありませんが、同じ地域で見て来た生活空間があまりにもリアルに描かれているのにびっくり。

ここに住んでいた同窓の仲間以外に話してもまったく通じなかった生活空間が描かれていました。まあ 尼崎だけでなく 街ではどこでもこんな風な生活空間だったと私は思うのですが……。

また、この小説の中で牛の腎臓「牛マメ」が庶民の生活の象徴のように何度も描かれている。私はそのスライスしたものを「マメギモ」と呼び、 中心部に脂肪が集まっていて、ショウガ醤油について焼くと実にうまい。私の好物でもあります。

でも、家内は この得体の知れない食べ物に当初びっくりしたという。

この「牛マメ」が小説の中に「マメの会(牛マメを食べる会)」と称して 住人達と食べる会が何度となく出てくる。

ついぞ 忘れていたのですが…… 本当にびっくり。

この「マメぎも」には 大学に入って 独り下宿した大学時代にも思い出がある。大学の生協食堂でこの「牛マメ」のソティ定食みつけ、食べるのを当初 仲間たちが不思議がっていました。

「マメぎも」などといった名前ももう消え、遠く記憶から消えていましたが、本当に自分の幼い頃の生活体験を思い起こしながら、一気に読みました。

昔を懐かしがってばかりでは いけないのですが、何か無くしてしまったものを見つけたような気になりました。

また、家内とふたり ひとしきり この小説の「尼崎」「まめぎも」を話題に 二人の同窓会。

今 この神戸出身の作家の作品が世代を超えて人気だと聞きましたが、私には幼い頃の尼崎での生活空間をリアルに思い起こさせてくれました。

また、戦後の仲間の生活の中に こんなこともあったのか……と いろんな仲間が頭に浮かんできました。

幼い頃の体験など、なんぼ言葉をつくしても その場で一緒に生活したことのない人には理解されないと思っていますが、あまりのリアルさと懐かしさにびっくり……。

同窓会世代の方々にとって 遠い幼い頃の生活の記憶を思い起こすにはいいかも……。

お勧めです。



牛の腎臓（スライス）

「まめぎも」の例

【From Kobe 5月】

- from Kobe 5月【1】 温暖化で年々数の減るカタクリの自生地 そして 片栗粉の原材料は????
- from Kobe 5月【2】 携帯電話 機種変更で知った 年寄りにはきついアメリカ型考え方
でも 携帯電話を使いこなさないと年寄りにはますます厳しくなる

from Kobe 5月【1】 温暖化で年々数の減るカタクリの自生地 そして 片栗粉の原材料は ????

春がくると 気になる花「カタクリ」 西日本の里山に咲くカタクリは氷河期の生き残り。

氷河期が終わり、温暖化と共に 年々その自生地を追われ、里山の山蔭 北斜面の雑木林の中などにわずかに残っているピンクの小さな花。桜便りが聞かれ始める頃 里山の北斜面などに、風にまっすぐ顔を向け、身を震わしながら直立不動で立ち向かう愛らしいピンクの姿に魅せられて、もう随分になります。昨年は



よう出合えませんでした、今年は西播磨たたら郷の山陰に咲く「カタクリ」に出会えました。

最近の地球温暖化によるものなのか 年々その自生地は小さくなっていると聞いて心配していましたが、今年も健在。風に身を震わして立ち向かう愛らしい姿に思わず「よう がんばれよ!!」と囁いていました。

ところで、一般に食料品店などで売っている「片栗粉」はほんものなのだろうか……

確かに北海道では 食用として「カタクリの花」が売られていたのですが、

市販されているような大量に「カタクリ(片栗)」の鱗茎から作られ、安価に売れるはずがないと。

不思議に思って 家内に聞くと「片栗粉の原料はジャガイモの澱粉。

昔からそうや」という。

それって「表示偽装 ????」。

市販されている「片栗粉」の袋には 確かに「原料 ジャガイモ」と表示され、本を調べると「昔は「カタクリ」の鱗茎から良質のでん粉をとって、これが本当の『片栗粉』。

少量しかとれないので、今この名で売られているものはジャガイモでん粉」と堂々と記されている。

もう片栗粉がカタクリから作られていないことには年季が入っている。

インターネットであたると カタクリから作った本物の片栗粉は「高級片栗粉???'とでも言うようで、わずかではあるが、和菓子の一部に少し使われているという。



ここでも 母屋をのつとられ、締め出された「カタクリ」 どこまでも 日陰なのであるが、私の最も好きな花のひとつ。

でも、その愛らしさと風に立ち向かうたくましさには年季が入っている。

久しぶりに出会えて うつむき気味の気持ちもシャンと。ラッキーでした。

街や駅で携帯電話のボタンをスピーディーに動かして、メールを書いている若者を良く見かけるが、その手の動かし方の速さに 思わず拍手したくなることがある。

「えらいこっちゃ 携帯電話の表示がみな 英語になってしまった。どないしたら ええのか?? もう パニックや」という。

「直して」と栞まれても 何が何やらわからず。

そもそも 日本の携帯電話で表示がすべて 英語表示になるなど まったく知らず。

色々いじくりまわして、表示設定に「Language」の設定で「English」と「日本語」の設定があるなど、まったく知らず。

設定を「日本語」に戻して、元に復帰。もっとも Language 設定で 英語にしても 表示が英語表示になるだけで、日本語で送られてきたメールが自動的に英語に翻訳されるのならば、もっと面白い使い道があるのですが……。

好奇心もほどほどにしないと大変なことになる。でも そんな ことにも慣れ親しむことが、今後のデジタル情報社会に住むわれわれにはますます重要になっている。



携帯電話は今では 若者だけでなく 年寄りにも必需品。日本では携帯電話が扱えないと老齢のサービスも受けられぬ時代がまじかに迫っている。ところが、携帯電話はますます その機能を増やしつつ 若者指向を強めている。

ちょっとでも 使いこなしていけないと 本当においてゆかれる。

そんな携帯電話機種切替手続きで知ったデジタル時代の自己責任の意味の話です。

◎ 携帯電話会社から、テレビと一緒に アナログの電波をデジタルに切り替えるので 機種変更施与とののがきが来た。

そして 今行くとはぼゼロ円で切替が出来て、しかも 色々新しいサービスも受けられるという。

何にも 今 困っているわけではないが、テレビと一緒に仕方ないと電話会社のサービス店に行く。

サービスショップの担当のかわいいお姉ちゃんや若者が携帯電話切替の手続きのオプションや何やかや説明してくれるが、何のことやら良くわからない。何を言っているのか まず 100% 理解できぬ。

色々聞いてみると 説明するサービス店の窓口もマニュアルにのっとって説明しているだけで、本当の所よく理解出来ていないという。

この携帯電話切替手続きについてのサービス店窓口のやり取りが、アメリカナイズされたデジタル情報化社会の方式と今までの社会の方式とのずれをそのまま持ち込んで、今後ますますデジタル・情報化社会の傾向がきつくなる中 知っておく必要があると考え、窓口とのやり取りを参考のために記します。

要は 高齢者 難しいと言われても知らん。とほって置くと ほんとうに取り残されることを心配します。

1. 携帯電話会社の都合でアナログからデジタルに切り替える機種変更で 何で初期費用が要するのか……

まあ、テレビも同じく 買換えないといけないから まあ しあないか……。

窓口がいうには 新しい契約では初期費用がほぼゼロになるプランなどもあるので、新しい契約の中で インターネットほか数々の無料期間が設けられている機能プランと初期費用無料プラン契約とを組み合わせ、そして 無料期間が終わる前にこの機能を解約すれば、初期費用が達成できるという。

もう ここから 用心せねばならぬが、さっぱりわからぬ。

色々な新しい機能が使え、割引を含めた色々の契約プランの説明と費用をマニュアルどおりやらないと契約が出来ない。

そのための説明なんです、その費用が機能ごとに初期費用や無料割引などとややこしく組み合わせられているので、何を言っているのか 良くわからない。

文章で書くと ざっと そんなところなのですが、まず 携帯でインターネットの色々なサービスやったことないと 何を言っている

のか判らんのが実情。要は窓口がいうとおりにすれば、費用はほとんど かからず お徳ということだけ理解。

でも 後で記すが、良く理解して、自分が どこで どんな アクションを起さないといけないのか よく理解しておかないと店の窓口の言っているとおりににはならない。

「自分がいつ どの時点で どんな アクションを起す卒洋画あるのか??」をクリアーにすることが 自己責任契約のポイントで、窓口もそのことが良く理解できていないので説明が良くわからないのである。

2. 「もう そんな ややこしいこと いらないので 元の機種のとおり使えるようにして。ボタンも そんなんでいいよ」というと

これがまた大変。今の携帯では「機能が増えて、元のアナログタイプの簡単な機種はない」という。

「ややこしいことせんと 契約も 元のことができたええので、そのとおりしておいて」というとこれがなんと「そんな契約にすると初期費用かかるという」。どうどうめぐりである。

3. 仕方なく 言うとおりにすることで 契約手続きをはじめるため、もう一度 性根を入れて聞く。

特に 一度契約して なぜ 解約せなあかんのかを。

要はほって置くと 無料期間が過ぎて 後は機能契約をそれぞれ解約しないと費用がかかるのである。

一度契約したものを 無料期間が切れるそのときに確実に解約しに行かないと 高い費用を払うことになるのである。

サービス窓口にお任せで契約し ほっておくといらぬサービス料金がかかるのである。

なにも サービス窓口がだましているのではない。 そのようなシステムになっていて それを認識していない自分が悪いという「自己責任」が貫かれているのである。サービスはすべて 自己申告・自己責任。 だから 窓口はマニュアルどおり 長々説明するのである。徹底して 理解して契約する国際ルールにいち早く携帯電話の契約システムがなっているのである。

同じようなことが、ほかでも はっきり明記されずに 次々と切り替えられている。

昔よく「知らないやつが悪いんだ」というような言い訳をしたが、今はそれがひそかに進行しているのである。

情報の乏しい年寄りには 本当にきつく、これが、1.に書いたややこしい契約スタイルの理由でもある。

「知らないまま放ったらかしのところから ちゃっかり 料金をいただく」システムが巧妙にくみこまれているのが、今の情報化社会なのである。

日本の今までの流儀とは異なるアメリカ流。 自己申告できっちり管理しないと費用が発生する。 安くできるといった店の窓口にはハイ ハイ といっていると馬鹿を見る構図になっている。すごい時代である。

このことを理解し、みずから 見抜いて貰うための説明なのであって それで そこから先は自己責任。

年寄りにはきびしいが、携帯電話はそんなデジタル・情報社会の中心として 使い慣れて行かないと何もサービスを受けられなくなる時代が目の前です。ちょっとでも 使い慣れて その方向を見ておかないとえらいことになる。

4. 新しい形態 色々なボタンも増え、使いにくいこと このうえなし。しかも、常に有料サイト導入へとボタンの配置がなっていて、これもすごい。

インターネットなど すぐにつながるようになっているのですが、最初の待受けだけが費用がかからず、次のボタンでインターネットの中に入るとそこからインターネット切るまで費用が発生する。 しかも このインターネットへの待ち受け すぐ間違えて押しやすいように配置されている。インターネット端末として 常に使いやすいように設計されている。

(だから インターネット 使い放題の機能料金プランもあるのです)

若者向けに多くのサービスが簡単に受けられるようになった分 年寄りには厳しく、また 携帯電話ははじめデジタル情報化社会では「自己申告・自己責任」が基本と良くいわれるが、その中身をよくしることがきわめて大事になっている。

こんなもの 使わないとやせ我慢しても それはそれで 破綻を招くし、徹底して慣れていかないと大変だ。

ちなみに 上記のような切替作業に赴かれる時には じっくりとサービスショップの窓口とのやり取りやられることお奨め。

1. 新型インフルエンザもおさまり 平静に 心配をおかけしましたが、神戸の街も もう元気です!!
新型インフルエンザのまん延防止で 灯が消えたようになっていた神戸の街も、
今週はマスク姿も消え、いつもの街の賑わいへ
多くの方にご心配をかけましたが、もう元気 活気あふれる街を取り戻しつつあります。

2009.5.29、 By Mutsu Nakanishi



今週はマスク姿も消え 賑わいが戻ってきました 神戸元町で



神戸の中心街で（元町 南京町 三宮センター街など） やっと人出も増えつつ 活気が出てきました



神戸の中心地 三宮・元町で 2009.5.29、午後

2. 新型インフルエンザの対応 西東 今回まなんだこと

5月の後半 神戸は新型インフルエンザ襲来で街は本当に灯がきえたようになりましたが、もう大丈夫です。

実は 神戸にいと本当にさまざまなことが、この新型インフルエンザを通じて、見えました。

● 東京は感染が広がっていない。 普通の冬のインフルエンザと一緒に、普通に生活すればよいという。

なにか 神戸・大阪北摂だけが悪者で、「騒ぎすぎ」の声が聞かれるが本当だろうか・・・。

新型インフルエンザはどんな症状を引き起こすか判らない。

鳥インフルエンザが引き起こした強毒性を発揮したら大変なことになると世界全体で強力な封じ込め作戦が取られた。

日本では まず空港で海外渡航歴のある人をチェックする水際作戦が取られるなど、厳しい検疫体制と学校・福祉施設の休校・休業などの制限がとられたのであるが、神戸・大阪では感染が広がった。そして 騒ぎすぎだというのである。

その実、神戸・大阪と関東では、新型インフルエンザの検査の対象に大きな差があったことは ほとんど理解されていない。

神戸では、「どうも海外渡航者とは別にこの時期にインフルエンザが流行。しかも A型が・・・」と街の医師が強力に行政に働きかけ、遺伝子調査をやったため、数多くの新型インフルエンザ感染者が特定され、その関連で大阪も数多くの遺伝子検査が行われたのである。

一方 東京では最後まで、渡航歴のある人とその感染者との接触者のみが遺伝子検査が行われただけである。

渡航者以外は検査放置されたままで、これでは渡航者以外に感染者が特定されるはずがないのである。

東京では ほとんど遺伝子検査もされず、通常の風邪・インフルエンザとして処置が街の医者にまかされた。

東京・首都圏がパニックになるのを恐れ、意図的な検疫体制で押し通したとしか思えないザルの行政にみえる。

幸いにして、神戸・大阪の感染知見が知れるにつれ、弱毒性で現在のところ通常のインフルエンザの治療でほぼ完治してゆくことが判ってきつつあったので救われた。でも、強毒化へ転移していたらと考えるとぞっとする。

今後、東京では何かにつれ出てくる「首都圏をパニックに落とさない」とするほうかむりの論議。

気をつけないと大変なことがおこるだろう。

● また、「厳しい検疫と社会生活の制限は生産・産業活動が崩壊する。 早く制限を解け」と。

出てくるだろうなあ・・・と置いていたら、やっぱり。現場からならまだしも、日本ではすぐ外野からこれが起こる。

この新型インフルエンザが流行したらまさに「生産・産業活動が崩壊する」から、

この検疫・社会生活の制限が図られたのではないのか・・・。

まあ 同じ構図が会社の中の 現場と本社の関係 安全の取組と経営コスト・合理化の関係などに見える日本の特徴。

もう ええ加減 脱皮せよと。 「お上の言うまを鵜呑みにしない。」の阪神大震災の教訓が生ける神戸である。

● 神戸でも??? の話

「ビール飲んで アルコール消毒や」と。ほんまかいな???

インフルエンザ流行で 神戸の外へ何か出にくくてもやもや。

大阪のなんばドームで野球見て、感染したとのニュースが関東から飛び込む。

球場での感染 ホンマカイナ??と。

そして、流行も峠を越し、人の動きが出てきた5月23日の午後 晴れの土曜日。神戸スカイマークスタジアムでの阪神一オ릭スの野球。

「ジェット風船は禁止されているし、もう 出かけてもええやろ」と「マスクもって行き」の声を振り切って出かける。

球場はほぼ満員。声を振り絞っての声援の中、飛ぶように売れるビール。みんな言うには「ビール飲んで アルコール消毒や」と。確かに周囲はビールの匂いブンブン。

ほんまに ほんまかいな・・・と。



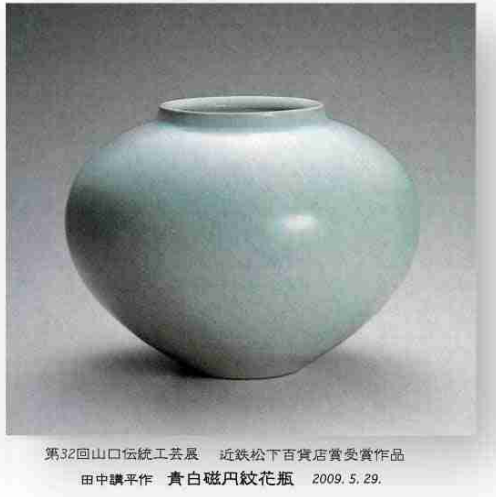
新型インフルエンザ 今回は峠を越したもののこの秋の再流行が怖いという。 強毒性への転化も懸念される。

今回の流行対応策をよく見直して、実のある対応マニュアルの策定と具体的な実行シュミレーションによる修正が緊急に必要なような機がする。 これは 新型インフルエンザに限らず 日本全体を覆う無責任な政治家諸施策にも・・・。

無責任に「自己責任」と叫びたくはないが、 鵜呑みにせず、自らの危機管理を考えたい。

3. 山口 萩焼の陶芸家 田中講平さんが

第32回山口伝統工芸展で 近鉄松下百貨店賞受賞



山口での仲間に加えてもらっている田中講平さんが 一昨年の第30回山口伝統工芸展での大賞受賞について、第32回山口伝統工芸展で 近鉄松下百貨店賞受賞されたと開催と同時に 作品が掲載された図録を送ってもらった。

山口伝統工芸展は人間国宝の大先生から新進気鋭の作家まで萩焼の陶芸家を中心とした日本工芸会山口主催の年に一度の新作工芸展での受賞。これはすごい。

田中さんの受賞作「青白磁円紋花瓶」

磁器の持つ整った形の美しさと透き通った肌の中に従来の青白磁にはない線形の文様が静かに浮かび上がってくる

通常は相容れないとされる「伝統の萩焼と長年培われた磁器の技の融合」

まさに田中講平さん渾身の作である。

毎年 田中講平さんを含め、どんな新作が出展されるか 楽しみの工芸展。

5月29日～6月7日まで 山口県立美術館 6月12日～16日まで周南市近鉄松下百貨店（JR 徳山駅前）で開催中。

また、7月にはこの出展作を中心に そごう広島店で第2回山口伝統工芸新作展として、開催される予定と聞く。

「萩焼の今」が見られる展覧会 お好きな方は是非。

時折 百貨店の陶器専門店コーナーで田中さんの作品を見つけるとつい寄ってってしまうのですが、
今年は是非 直に見に行こうと。

ぶつぶつぶつ

やめられない大人の価値観

政治の変革とともに かわるでしょうか かえられるでしょうか



先日 毎日新聞のコラム「発信箱」に 出前授業に出かけた研究者の話として、次のような記事が出ていました。

ある高校で「科学技術が役に立っていると思う人?」と生徒に聞いたら、しばらくして半分ぐらい手があがった。「科学技術が環境を壊していると思う人?」と聞いたら、間髪入れず全員の手があがったという。

.....

事実、公害は科学技術を支える企業活動が生んだ。しかし、科学技術は環境問題の解決にも貢献するはずだ。それをすんなり受け入れられないのは、大人たちの言動にどこかウソっぽさを感じ取っているのではないか。高校生でない私でも納得いかないことは多い。

省エネを叫びながら、省費電力の多い大型テレビほどエコポイントがつくのはなぜか
ためたポイントでガソリンが買えるのは変だ。

化石燃料を減らせ言いつつ、高速道路料金を 1000 円にしてドライブを奨励するのはどうなの?
大人たちは「健全な経済があってこそ、環境問題の解決に投資できるのだ」と説明するだろう。

.. 途中省略....

自分が得すればいい。企業や日本の景気が上向けばそれでいい。

高校生が迷いなく挙げた手はこういう価値観を大人はまだかえないのかと問いかけている。

毎日新聞 2009.6.27. 「発信箱」より

的を得た問いかけ まさに「ぶつぶつぶつ」

でも、何か大きなインパクトが 自分の身に降りかからぬ限り、大人たちは論をかえないと思う。

「嘘っぱちや」と思いながらも、自分はそっち側で....と思う。

「言葉の情報は どうもウソが多い」と思いつつ 日本人の大人の行動パターンは「ことば」「人」情報に頼る。
要は人頼みなのである。みんな気づきながら その行動パターンをかえられないでいる。

最近の情報開示に名を借りた一方的な「人・言葉」情報に あまりにも振り回されていないか...

IT・メディア革命・情報革命はそんな行動パターンをさらに助長しているように思えてならない。

「身近な人が身近な言葉で」の情報はそのまま受け入れてよいのだろうか.....

「ぶつぶつ」もできれば、この「行動パターン」を変える道や

「嘘っぱちの言葉情報」を見抜く道についても 言ってもらいたいなあ...と。

選挙も近し。こっちもぶつぶつです。

かんかん照りの夏の到来を待つこの頃です

2009.6.30. by Mutsu Nakanishi

おまけ

ぶつぶついていたら、マレーシア在住のSさんから、

下記のような「ブラックジョーク」紹介のメールが届きました。

森元首相 忘れかけていましたが、懐の深いリーダー不在の中、「選挙近し」で、国内でも良く耳にしますが…………。

日本の国内情勢も逐次 海外に良く知られている表れ。

これもいい方であれば、良いのですが、東南アジアでこんな風にかかる時代になっていることにビックリです。

風雲急 選挙がいよいよ。

早く今の閉塞感から抜け出る希望がほしい この頃です。

おはようございます。これが、マレーシアで流されています。

間違いの記載もあるし、また、これが事実かどうかは別として、(もちろん、ジョークですが) 海外で、この種のものが流されていることに驚きと、不安を持ちます。

日本の政治家への皮肉ともとれますし、今時何で森首相か？

09/07/02 在 ペナン T.S

English is a difficult language for some!
This is a true story from the Japanese Embassy in US!!!

A few days ago, Prime Minister Mori was given some Basic English conversation training before he visits Washington and meets president Barack Obama...



The instructor told Mori Prime Minister, when you shake hand with President Obama, please say 'how r u'. Then Mr. Obama should say, 'I am fine, and you?' Now, you should say 'me too'. Afterwards we, translators, will do the work for you.' It looks quite simple, but the truth is...

When Mori met Obama , he mistakenly said 'who r u?' (Instead of 'How r u?'.)

Mr. Obama was a bit shocked but still managed to react with humor: 'Well, I'm Michelle's husband, ha-ha..'

Then Mori replied 'me too, ha-ha.. '.

Then there was a long silence in the meeting room.

現地のフィールドへ行ってみないと判らぬ「南郷 (なん→ごう→)」と「南郷 (なん↗ ごう↘)」

***** 忘れかけていた言葉のマジック *****



南郷のランドマーク 袴腰山から見る近江湖南の南郷とその背後琵琶湖

2009.8.1. by Mutsu Nakanishi

近江湖南 琵琶湖からの淀川の流れ口が「南郷洗堰」。

「『南郷 (なん↗ ごう↘)』の洗堰へ行ってきた 」というと家内がおかしい顔をする。

「『南郷 (なん↗ ごう↘)』とは言わない。『南郷 (なん→ごう)』や。

『南郷 (なん↗ ごう↘)』と言うからどこへ行ってきたのかと思った 」という。

そう言えば JR 石山駅で「『南郷 (なん↗ ごう↘)』への路線バスを訊ねたとき

一瞬 怪訝な顔をされた記憶がある。

よく言われるのは「橋(はし↘)」と「端(はし→)」 「箸(はし↗)」。

そのイントネーションをしっかりと覚えないと違った意味になってしまう。また、その地方・地方でそのイントネーションが変わる場合もあるという。でも「はし 橋・端・箸」のいずれもが 異界をつなぐものとしての意味をゆうし、そのルーツは同じかもしれない。

奈良県御所市 葛城山・金剛山の東の山懐 古代葛城氏の本拠地の「南郷」は「南郷 (なん↗ ごう↘)」

滋賀県大津市 淀川の流れだし口「南郷」は『南郷 (なん→ごう→)』である。

どちらも古代 朝鮮半島から数多くの渡来人・製鉄技術者がやってきた地であり、「南郷」の地名そのもののルーツは同じなのかもしれない。

滋賀県出身の仲間に聞くとやっぱり

「南郷洗堰は『南郷 (なん→ごう→)』や。『南郷 (なん↗ ごう↘)』では通じない 」という。

また、故郷では それを実に良く観察しているとも……。

言葉を通じて、意思疎通を図り、文明文化を育んだ。

そして、発せられる言葉ばかりでなく、そのイントネーションにも、真実読み取り仲間・親しみを意識するという。島国で 多くの異文化との接触が少なかった日本人は特にその感性が強い。

最近 忘れかけていた言葉のマジックに気がついた「南郷」のイントネーションでした。



琵琶湖の水の調整弁 瀬田川 南郷の洗堰

★ やっと衆議院が解散されて総選挙。

今度ばかりは きっちりとした世の流れをリードしてくれる人たちを選びたいもの。

付け焼刃・短絡的な発想や揚げ足取りの政治には もう飽き飽き。これではこの厳しい変革期は乗り切れまい。

棒読みや言葉の羅列にだまされないで、自分の発想を持ち、道筋を語れる人を選びたい。

マニユエストとは本来 具体的な道筋をしっかり具体的に語るはずのもの。しっかりとした道筋を語ってもらわねば……。

マスコミがちやほやする最近の声高に伝えられる「地方分権」論にも もろ手を挙げて賛成しかねる。

その人たちの物言いを良く聞くと何のことはない目の上のたんこぶを取り除いて、自分たちがそれに取って代わる。
体質はやっぱり 中央集権・権力志向。「道州制」への論議にはそんな鎧が見え隠れ。眼くらましの感じがしないでもない。
「地中央集権から地方分権」で変えてほしいのは「首」ではなくて「視点・目線」。
上からの切捨て目線から ともに共生する融和現実路線への目線変更が必要なのですが……。

★ 今 変革の混乱の中で「貧困・病気・介護」など数々の困難に見舞われている人が数多くいる。
企業一辺倒をはずし、波及効果ではなく、多少の不公平がでて、数々の困難に見舞われているそんな人たちの生活の改善への
ダイレクトな道筋や施策の実現が必要ではないか?? それが、みんなで支える痛みではないか??
企業救済・支援が生活改善へ回らない現実 それこそダイレクトに個人・商店・中小企業へ舵をきっても良いのではないか??
大企業救済やばら撒き施策で使った金の大きさを考えると一度は下から投入して、やったことのない波及を考えも許されるのでは
ないか?? そんな コンセンサスはないか???と。

「**南郷** (なん→ごう→)」と「**南郷** (なん↗ ごう↘)」 から 最近のニュースを見聞きするにつけ、
そんなことを思い浮かべています。

「知らなきゃ 損する」IT 社会 携帯電話での失敗などなど

6 月に家内と二人で新しい携帯電話に替えたのですが、この夏の使用料金の明細が送られてきて そのビッグなのにビックリ。明細書をみるとパケット通信オーバー分が凄い。これは何だ……と。

携帯電話の代替時「パソコンもあるし、携帯はそれほど使わないから 一番安い基本にしといてください。」と料金体系を決めたのが原因。どうも 写メールの料金らしい。料金は銀行引き落とし。そして最近は明細もインターネット・携帯電話で見る方式が主流。眼を光らせないと知らぬ間に見過ぎて高い料金を払い続けることになる。

携帯電話の機能にも慣れ、家内と二人 デジカメと変らぬ写メールの画像の美しさにこの夏やってきた孫たちの写真をバチバチ撮って写メール。パソコンにも保管の写メールをした記憶がある。それも出来るだけパソコンで処理できるようにと写真サイズを圧縮もせずに……。

話をみんなにすると 即座に「そら 写メールや。みんな その経験ある」と家内も私も異口同音に聞く。どうも みんな経験していて、私たちが遅れていた様子。インターネットで 写メール・ビックリ料金で検索するとあるある。凄い数の情報。メールと同じで、写メールちょっと時間かかる時もあるが、まあいいか……と思っていたのですが、写真の大きさを文字数に置き換えて考えると凄い長さになる。メールの大きさに比べると凄い大きさでしかもカラー。

原因が判るといって簡単。パケットとは言い換えるとこの長さなどのトータル。基本料金では 10 枚も送れば基本料金を超え、その後の 1 枚ごとの過料はかなり高いのである。ちなみに写メール 1 枚 どうも 100 円以上 数百円/枚もかかる場合もあるらしい。パケットの言葉にわからぬままずっと通り過しているが、「写メールで写真 1 枚送ったらいくら。また、どの大きさやったら その何倍」と言ってくればいいのですが、契約の時の基本はサイズダウンなしの一番大きな大きさに パケットの話はあっても 写真 1 枚なんぼの話は口チャック。メールでは 1 円メールを大宣伝したではないか……。

これだけ みんな 写メールの理不尽さに遭遇しているということは これで携帯電話会社もうけているのか……と。

宣伝に乗って 写メールやビデオをせっせと送っているとえらい目にあう。

「それやったら 写メール 使い放題に契約を換えたら」と言われるに決まっているので、やせ我慢で今は写メールはストップです。

インターネットが普及するにつれ、文書や口頭での説明は簡略化され、何がなんだかわからぬままに情報端末が巷にあふれている。そして この機械は細かいこと教えてくれないし、フォローはしてくれないままで。

まちがっても「そっちより こっちがいいよ」とか「こんな 選択肢もあるよ」とは アドバイスしてくれぬ。

「知っていれば 得する。知らなきゃ 損する」いやな情報社会が出現しつつあり、情報の少ない年寄りにはつらい社会。

「年寄りほど携帯電話には 慣れて使いこなさないとダメ」と常々言い続けるのですが上記のような失敗も。

でも 今月紹介した航空券シルバー特割の裏技など 知って得した最たるもの。

こんな例も……。

その 1. マクドの店頭で携帯電話をかざして

「この紋どころが 眼に入らぬか」の若者 知ってますか……

この頃 街にでて、ちょっと休んで 町をぼんやり眺めたくなるとマクドのカウンターに座ることが多い。ポケットの 100 円玉数枚でマックとコーヒーが飲めて、若い人も入れ替わり立ち代り入ってくるので気が楽なのである。

このマックのカウンターで水戸黄門よろしく携帯電話をカウンターにかざしている若い人がやたらに多い。

はじめは電子マネーか何かと思っていたら、あまりの多さにどうも違うらしいと。

私もマクドの店頭で一度「この紋どころが 眼に入らぬか」をやりたいくて……



息子に聞くと「割引クーポンやコーヒー無料」のクーポンが 携帯電話のインターネットで入手でき、そのクーポンをかざす」のだと。

携帯電話で金曜日に毎週 そのクーポン案内のメールが来るように設定できたのですが、ジャリ銭でコーヒー飲む程度のわたしには関係なし。この方法・サイト・使い方を理解するまでのインターネット代もたかいのだろうなあ・・・と。

いまだにマクドの店頭で一度「この紋どころが 眼に入らぬか」をようやらずにいる。



その2 キッザニア甲子園 予約も情報も案内パンフもすべてインターネット・電話(プッシュホン・携帯)のみ その徹底ぶりに脱帽
キッザニア甲子園が関西にオープン。子供たちに大人気で休日の予約チケットなど中々取れない。

この夏 孫娘から「帰ったらキッザニア甲子園連れてって。切符はインターネットしか取れないので頼む」と。

凄いですね。常々チケットをはじめいろいろなものが、インターネット販売になっているのは知っていましたが、この「キッザニア甲子園」切符の予約のみならず、案内もなにもかも一切インターネットでないとダメ。パンフレット一枚手に入らない。キッザニア甲子園へ行ってもダメである。おまけに 予約しても 入場して行きたい店へ行こうと思ったら、開演前に並んで順番チケット取って 早く入場することが必要なのですが、それも公式にはオープンされず、ネットにある口コミ情報だけ。

順番チケット取るのに並んでいるのは若いママさんばかり。並びなれているというか 文句も言わずにようまあ 何時間も並んでいる。本当に年寄りにはきついと。

インターネットや IT を売り物にするのなら、もっとスマートな方式あるだろうと文句もいいたいのですが、これまた、文句を言うところがない。アメリカナイズされた情報端末を駆使したやり方の凄さとそれに慣れる若い人たちに脱帽です。



情報端末使いこなさないと取り残されてゆく社会が始まっている。

それにしても「知らないやつは相手にしない」との情報端末を使ったビジネスは それこそ弱肉強食だ。

なんせ 全世代の 1/4 はまったく 情報端末が使いこなせぬ年寄り世代。

年寄り世代にやさしい情報端末システムを全面的に展開してくれる所はないのか…………と。

意味はちがうが「スローライフ」・「友愛」の言葉が踊る政権交代。

「知らなきゃ 損する」IT 社会だけはパスしたいもの。

でも、「知らなきゃ 損する」IT 社会を意識した生活スタイルを構築せねば・・・と思い始めています。

情報過多の時代 情報操作が進んでいるのでは・・・
芸能化が進むテレビの声高情報に疑問



「鉄人 28 号」の像が設置されてにぎわう神戸 新長田の街 2009.10.4.

猛威をふるうインフルエンザ 最近「インフル」と言うそう。

東京の娘からの電話では「半日で劇症化する。」「子供が診察をいつでも受けられるように幾つか病院にカルテを作った」と。
今度は関東が騒いでいて、関西ではまだ、感度は低いようだ。

季節性インフルエンザとかわらぬ 年寄りは大丈夫」との今年初夏の情報が頭に残っている精か 神戸ではまだ呑気です。

でも やっぱり 半日で重症化する新型インフルエンザ 呑気には構えておられない。

いつも注意しておらねば・・・猛威をふるうインフルエンザ

振り返ると テレビに映される情報に振り回されたことにハッと気がつく。

このインフルエンザに象徴されるテレビなどマスコミ芸人のヒステリックな言葉が真の情報と映る情報過多の時代

「オオカミ少年」に惑わされぬよう自分の眼をもたねば・・・。

最近 若者たちのテレビ離れが急激に加速し、その流れが中高年にも広がりつつあると聴く。

情報操作の蔭をみんなテレビに感じ出しているのでは・・・と。

「KY」の言葉がはやり 「乗らないと置いてきぼりに」の時代から 確実に時代が変りつつあると。

インフルエンザ情報 初夏と今のトーンの違いと町の空気の違い

身近に感じるテレビの声高情報に対する疑問です。

また、ある関西のテレビで

「JAL の危機」について、少数意見として かき消されながら、こんな情報もありました。

「何で JAL 潰したらあかんの???? 凄い税金使ってまた救済。
潰したら大変 潰したら大変。どこが大変なのかさっぱり誰も言わず、
誰が困る? 離島などの対策をきっちりすれば、誰も困らないで。
新幹線はあるし、高速道路網はまだつくるのやろ。
海外だって 新しい航空会社次々。
海外旅行だって 庶民は安売りの海外航空会社 ANA もある。
飛行機会社なんて 潰してから考えても 困る人は金持ちだけや
勿論 離島などの対策 考えなあかんが・・・」と。

正論と思うのですが、仲間のない論はかき消されがち。

一般人からすれば、これが政治の本筋ではないか・・・と。

「大げさにさわぐマスコミ芸人」「少数派」と「情報操作に走る人」

さあ どうなるのでしょうか・・・

「和鉄の道・Iron Road」一年を振り返って 2009.12.3.

By Mutsu Nakanishi

本年一年間 「和鉄の道・Iron Road」にお付き合いいただきまして ありがとうございます。

本年 1 月 淡路島で「弥生時代後半 卑弥呼の時代の国内最大級の鍛冶工房村」が出土したとのビッグニュースが報じられ、邪馬台国・大和とどようにながるのか が大きな話題となりました。

播磨灘を見下ろす小高い尾根筋に幾つもの鍛冶工房が出土したのはビックリで、胸わくわくで見に行きました。

また、本年 11 月 大和纏向遺跡からは卑弥呼の時代の宮殿跡と話題となった整然と立ち並ぶ建物群や水路跡が出土し、この卑弥呼・邪馬台国とこの鍛冶工房村がどんな風にかかわりあっていったのか 興味深々で 今後の展開が楽しみ。

昨年末から本年はじめ、紀元前 19 世紀まで遡ることができるヒッタイトの人口鉄が ヒッタイトの故地 トルコ アナトリア高原で大村幸弘氏の手で発掘されたこともビッグニュースでした。

しかも この「鉄」が強靱性を有する「鋼」でヒッタイトの強力な力はこの「鋼」を持ったことによるのではないかと大村氏は分析する。このヒッタイトが育んだ「鉄」がどんな経路でどのように東アジアの中国・朝鮮・そして日本へ伝わってきたのか・・・

そして 他に類例のない砂鉄原料によるたたら製鉄が 6 世紀日本で始まるのですが、上記した古代東アジアでの鉄の伝播とどんな関係を持っているのかも興味深い。

中国を中心に東アジアの古代製鉄遺跡の発掘調査など古代東アジアから日本への製鉄技術の伝播についての新しい業績を挙げつつある愛媛大学教授村上恭通さんが「浜田青陵賞」を受賞されたのもうれしいトピックス。

村上恭通さんからは「東アジア 現在発掘調査を続けている中国四川をはじめ、北朝鮮や旧ソ連の内陸部など 製鉄遺跡が眠ったままの地域が多い。これらの地域の調査を通じて 日本のたたら製鉄の起源がもっと明らかになってくるだろう」と聞きました。

また Country walk で訪れた各地には 製鉄遺跡とは別にその時代 時代 を支えた「鉄のモニュメント」が数多く残っている。それらに寄せる思いは人それぞれ。

私にとっては 本年 琵琶湖から流れ出た瀬田川が宇治川となって京都・滋賀県境の喜撰山に作られた発電所の地下に埋設されている水圧鉄管「喜撰山ダム」周辺を歩けたのが一番心に残っている。

弥生時代後半 国内最大級の鍛冶の村「垣内遺跡（鍛冶工房跡）」

国生み神話の淡路島で、弥生時代後半 卑弥呼の時代の最大級鍛冶工房村が出土した
倭国から初期大和政権誕生へ 日本誕生の謎を解き明かすかも・・・



尾根筋の最下部より 尾根筋に広がる遺跡全体 2008.1.25 2007年調査前は既に埋め戻されている



弥生時代後期1世紀～3世紀前半の大鍛冶工房跡「垣内遺跡」主要部 淡路市黒谷 2009.1.25 雪の朝

- SH-302 鍛冶工房跡（大型円形鑿穴建物）少なくとも1回建替 鍛冶炉跡10 石礎 金床石 鉄製品12
- SH-303 大型鉄条村が出土した鍛冶工房跡（大型円形鑿穴建物）鍛冶炉跡3 石礎 鉄製品5（内1は大型鉄製品）
- SH-304 鍛冶工房跡（方形の鑿穴建物）鍛冶炉跡1 壁際で石礎・炭石・鉄製品1
- SH-305 円形鑿穴建物 炉跡発見されず
- SH-306 鍛冶工房跡（鑿穴建物）南半分が崩れ半円状で出土 鍛冶炉1 鉄片1

トルコ アナトリアで大村幸弘さんたちによって発掘された最古の人工鉄「鋼」

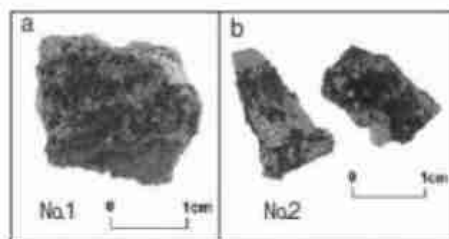


写真2 カマン・カレホック第Ⅲc層
建築遺構出土鉄片の外観。

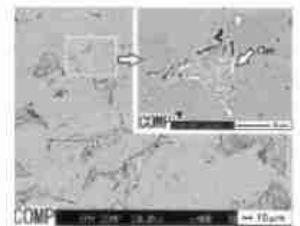


写真3 カマン・カレホック遺跡第Ⅲc層出土鉄片のEPMAによる組成像（COMP）。Cmはセメンタイト（Fe₃C）。写真右上は鉄内部を拡大。

BC19世紀の層から出土したヒッタイトの「鋼」

戦後を脱し 高度成長期 日本の重厚長大を支えた鋼構造物（発電所水圧鉄管・長大橋・超高層ビル・陸機・海上構造物等々）の素材となった溶接が容易に出来て強靱な強さを持つ鋼 「溶接用高張力厚鋼板」。その先駆けが喜撰山の水圧鉄管。いつも 頭の隅にあった名前です。

まった 阪神淡路大震災の復興を願って神戸長田に建設されたアニメ原寸鋼鉄製の「鉄人28号」も震災とは別に高度成長期と重なる「鉄のモニュメント」として 興味深い。

好きな縄文 「縄文の心を映すストーンサークル」
「鉄が弥生の戦を持ち込んだのか??? 否 鉄が各地を開拓し、豊かな国づくりをなしとげたのでは??」
そんな時代へも Country Walk 今年9年ぶりに

「青森三内丸山縄文遺跡でのお月見」に出かけ、秋田鷹巣の伊勢堂岱の環状列石群の中に立つことができました。

おもしろかった一年 引き続き 「鉄・たたら」をキーワードにCountry Walk を続けたいと思っています。

2009. 12. 3. 「和鉄の道・Iron Road」 一年を振り返って

Mutsu Nakanishi

